

## コロナ問題に関連する、香川大学病院形成外科における漏斗胸手術の2020年5月1日現在における対応について

コロナ問題に関連する緊急事態宣言が4月下旬に香川県にも出されました。これを受け、香川大学病院長ならびに感染対策委員会の指示により4月下旬に県外の患者さんが受診をされる場合には、香川県内に2週間逗留の後、発熱が無いことを確認した上での入院をお願いすることになりました。

また、重症のコロナ患者さんの受け入れに備えて人工呼吸器や集中治療室を確保しておく必要があるため、手術の枠が制限されています。がんや重度の外傷など、緊急性の高い手術については行うことは可能ですが、生命直接、影響しない手術は、手術室ならびに麻酔科の状況により、週ごとに臨時手術として予定を立てさせていただいております（2020年5月1日現在）。

つまり現今において、手術をご希望される患者さんについては

①5月中旬より香川県内で待機していただき

②5月下旬に麻酔科ならびに手術室に臨時手術として受け入れを確認してから手術を行う、という方法を取っております。

問題点は、状況によっては手術の2週間より香川県内で待機していただいても、手術の直前になってコロナ肺炎の重症患者が出たり、コロナ患者の手術が必要になったりした場合には、手術が延期・もしくは中止になる可能性もあることです。

そうした可能性も踏まえても手術をご希望の患者さんについては、形成外科としては今後できるだけ努力して手術を行ってゆく方針です。

感染の拡大状況に応じて状況は変化しますので、逐次、当院の方針につきアナウンスしてゆく予定です。

2020年5月1日  
香川大学病院 形成外科教授  
永竿智久